

第2章 『基本方針』

1. 八代市の主な観光資源

本計画の策定にあたり、八代中心部、日奈久地域、坂本地域、千丁・鏡地域、東陽地域、泉・五家荘地域より交流事業に携わる住民の方々の参加による地域ワーキング会議を設置しました。地域ワーキング会議では各地域の現状をはじめ、将来像について活発な議論が交わされ、地域住民の感じる自分達の観光資源として次のものが抽出されました。

各地域における観光資源（抜粋）

八代中心部・日奈久地域	坂本地域	千丁・鏡地域	東陽地域	泉・五家荘地域
すばらしい海、山、川がある	温泉(クレオン・憩いの家)	い草の田んぼ(風景)	棚田の風景	紅葉
城下町の歴史と文化	球磨川	八代平野(坂のない地形、真四角の区画)	しょうが畑の田園風景	釣り(ヤマメ・ブラックバス)
八代城跡や松浜軒などの史跡	走水の滝	い草(日本一の生産量)	良質な土地	山の緑の色が複雑
多くの文化財	棚田の風景	い草発祥地(500年の歴史)	美生の滝、小原の滝	ホテル
体験型観光	桜の里公園	千拓の歴史と文化	黒淵河川自然公園・川遊びや沢のぼり	清流や空気(川辺川や氷川の源流)
八代でしかできない体験	百済来地蔵と百済の歴史	千拓民謡(大翰節・大翰名所)	スコップ三味線(JA婦人部)	希少植物(花)
やつしろ全国花火競技大会	遊歩道と滝の絶景ポイント	大翰樋門	石工の里(石匠館と石橋文化)	原生林
八代妙見祭	坂本ふるさと祭り	塩湯の温泉	日本有数のしょうが産地	冬の夜空の星
晩白柚	色々なウォーキングイベント	新幹線沿線の菜の花やひまわり	しょうがの加工品(みそ漬け・シロップ)	一日でも景色が変わる
600年の歴史ある温泉とその魅力	新幹線の見える広場	八代海のアサリと海苔	でこぼん・晩白柚	深山(夕日が見えない山深さ)
高速、鉄道など交通アクセスの良さ	やまめ釣り大会	い草アイスクリーム	山菜などの田舎料理	平家の歴史
人の良さ(親切)	夏の親水公園	い草の加工品	幹線道路から近い山間部	菅原家の歴史
安心安全という農産物の付加価値	桜の雫(熊本名水百選)	い草のダゴ汁、麺、こんにやく、ふりかけ、飴、お茶	盛んなグリーンツーリズム	神楽や古代踊りの伝統芸能
温泉街の木造建築物	荒瀬ダム	い草の麺	しょうが掘り体験	かやぶき屋根
日奈久のレトロなまちなみと路地裏スポット	休耕田の菖蒲	い草のふりかけやお茶	地元野菜を使ったおもてなし	山歩き、トレッキング
ゆったりとした時間	滝の絶景ポイント(展望所)	い草の飴	花いっぱい運動	人の温かさ(おせっかい)

2. 八代市の観光の強み・機会と将来像等

地域ワーキング会議において、各地域における、強みや機会、将来像、新しく欲しいものについて以下のように整理を行いました。

<p>八代中心部 日奈久地域</p>	<p>【八代中心部の強み・機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室町時代からの交流の拠点だった ・花火大会や九州三大祭りの妙見祭 ・交通アクセスの利便 ・観光ボランティアガイド <p>【日奈久地域の強み・機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・600年の歴史 ・レトロな街並み ・路地裏 ・温泉 	<p>【八代中心部の将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業遺産（煙突・引き込み線・工場）＋歴史 ・高齢者にやさしく、若者が楽しめる街→公共交通の充実 <p>【日奈久地域の将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の雰囲気保全 ・温泉を中心としたやすらぎの里 ・昔ながらの良さ ・スローな時間を過ごせる <p>【八代中心部・日奈久地域で新しく欲しいもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妙見祭会館の完成 ・八代城の復元 ・二次交通体系
<p>坂本地域</p>	<p>【強み・機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球磨川を含めた自然 ・地元の結束力が強い ・荒瀬ダムの撤去事業 	<p>【将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球磨川を有効活用 ・地域の人の結びつき <p>【新しく欲しいもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球磨川遊覧船 ・八代の文化財の展示（廃校の利用）
<p>千丁・鏡地域</p>	<p>【強み・機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・い草の田んぼ、そのままの景観が残っている ・千拓地の歴史と文化 ・い草粉を使ったグルメアイテム 	<p>【将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・い草を活用して消費者とつながる ・ラムサール条約（貴重な渡り鳥） ・循環、環境、バイオマスを活かした交流 <p>【新しく欲しいもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験工房 ・い草のお土産などの流通施設
<p>東陽地域</p>	<p>【強み・機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょうが ・棚田などの景観 ・石橋群と石工文化 ・幹線道路から近い山間部 ・川の文化 	<p>【将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や自然に触れる ・川を活かして（せせらぎを中心に） ・都会とのつながり <p>【新しく欲しいもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制 ・HPなどの情報ツール ・夏季に楽しめる場所
<p>泉 五家荘地域</p>	<p>【強み・機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の原風景・手つかずの自然・個性ある魅力が残っている ・人々の暮らし、強いつながり ・人に教えたくない秘密の場所 	<p>【将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品や料理の開発 ・体験型観光 ・観光とは別の交流 ・田舎暮らし、不自由が新鮮 <p>【新しく欲しいもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品開発 ・送迎が出来る仕組み ・道路や遊歩道の整備

3. 観光振興における基本方針（理念・ビジョン）

本市は、山間地、平野部そして沿岸部にわかれ、山間部は九州山地の脊梁地帯、平野部は日本三急流の一つである球磨川と氷川等からできた扇状地や三角州からなり、肥沃な土地と豊富な地下水を有し、海岸部は八代海に面し古来より交通の要所となっています。

このように本市は深い山々や干拓による広大な八代平野、開湯600年を誇る温泉地など、個性的で多様な地域資源を有しています。これら八代の持つ地域の多様性は無視できません。それは他の地域との差別化の要因といえます。しかし、『八代には山も川も海の地もある』=ただあるだけでは「何もなし」と同じことです。そこにあるという事が重要ではなく、そこにある意味や価値が重要なのです。

また、これからの観光は「体験や交流」に基軸を置き、何か新しいモノを作ることではなく、今ある魅力を磨き上げていく事が大事です。

【1. 観光振興のための理念】

八代の良さを知り 住む人が熱く語りはじめる

住民自身が地域の価値を知り、地域に誇りを持ち、地域内外に伝えたい、そのような観光まちづくりを目指します。

理念とは

なぜ観光振興を図るのか、観光振興（交流）を通じて、「八代市」をもっと幸せな地域にしたい。そのため何をするべきか、行動や意識の指針となるものです。

【2. 観光振興におけるビジョン】

八代のそれぞれの魅力が光り つながることによって 質の高い^{と き}時間を提供するまち

八代市の各地域のそれぞれの魅力が光り、地域の人たちが発信することによって、『点』として存在した魅力がつながり、『面』として八代全体の魅力=光となる。それらを、来訪者（お客様）の深層のニーズと共鳴させることによって、より深くより多様性に溢れた、良質な時間消費を提供することができるまちになります。

ビジョンを具現化するための4つの指針



地域資源を再発掘し磨き上げることによって、地域ごとの戦略が生まれます。それらをつなげることで、八代全体の魅力となります。



地域らしさを形成する歴史や文化をつなぐことによって、地域への誇りを持ち伝えたいという意識を醸成します。



人の「縁」や「絆」をつなぐことによって、地域どうしの交流が生まれ一つ一つの出会いを大事にします。おもてなしの気持ちを高めます。



命の源「食」を見直し、安心・安全な地域の食を提供することによって来訪者（お客様）や地域住民との関係性を構築します。

ビジョンとは

ビジョンとは「将来の展望（計画）」。理念をもとに「どのような交流が生れる八代地域になりたいのか」を具体的なイメージに仕上げたものです。